学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
東京都豊島区目白
1丁目5番1号
電話（986）0221内線607
発行人・門田　庄司
編集人・平塚　晶子
年間200円

紙面紹介

本号二面
輔仁会理事会（1面）
山手線自動改札（2面）
学習院素描画（2面）
―佐藤高史さん―

輔仁会平成2年度予算決まる

総額六、一九九万円を承認

四大戦特別予算四十万計上さる

輔仁会理事会は去月十三日に開かれた。同理事会は平成元年度会計、平成二年度予算を審議し、すべて原案通り承認した。輔仁会大学支部の平成二年度予算は、総額六千百九十九万八千百七十八円に決まり、文化部・運動部・同好会の各常任委員会による、大学新聞費改定案は、大学支部内2の再考を要ありとされ、差し戻された。大学新聞社に対しては詳細な参考資料の提出が求められた。

輔仁会理事会（理事長・波多野理事教授）が去月十三日、北一号館二階の第一会議室で、午後五時より開かれた。同理事会には、大学支部の代表、また学部・研究所・図書館・学生部・高等学校・中高等学校の各部長、事務局長、学生課長、学生相談所長、学内大会委員会の委員長、そして大学新聞改定案・学生会館改築案・学生会館の新聞費・学生課費・文化部費・運動部費・同好会費・次年度繰越金・支出の部合計などの問題が審議された。

まず、大学支部の平成元年度決算については、若干の問題が監査理事から指摘された。問題となったのは部室管理委員会の二千五円相当収書粉失の件で、これは五月九日に、部室のメイルボックスに投函された製図会部のメイルボックスに破壊事件による。

これに関連して、学生理事は、発見された製図会部のメイルボックスの破壊事件について、「学生会館の管理委員会に徹底を強制した。この他、四十二万円が計上された。

★理事会ウォッチング★

学支部席には同川学長をはじめ学生理事である松林総務局長代行、中尾文塔委員長、永松運常委員長、天目石同常委員長、羽田野学生相談所所長が顔を並べた。

連名による開謝を事前に行い、また小笠原部室部会顧問会議、また二年度予算案は支部野理事長によって指摘された。

ともにすべて承認された。本年度予算については、大学支部長が、野理事長の質問に答えた後、明二年四六教の当選校である大メイルボックスに面収書の管理委員会に徹底を強制した。この他、四十二万円が計上された。

「大学新聞費改定案について」

次に、大学新聞費改定案について提出された大学支部内2の再考の必要があるとされ、差し戻された。

度決算はすべて承認された。また二年度予算案は、いくつかの問題点が挙がったものの、そのほぼ全ての費用の再考の提出を大学支部内2の再考の必要があるとされ、差し戻された。

荒川隊長手記〈下〉

学習院チベット登山隊

チョー・オユー峰への道

チョー・オユーとうし山

チョー・オユー峰は標高八一〇二メートル、世界第六位の高峰であり、中華人民共和国チベット自治区とネパールとの国境上、チョモランマ（エベレスト）の西北約三十キロに位置し、「トルコ石の女神」を意味する山の名にふさわしいものである。そのおだやかな山容は、二九五四年のオーストラリアのディッリーら初登頂以来、比較的多くの登山者を惹き付けている。

山のすぐ西側には、ナンパ・ラという峠がある。標高は五七〇〇メートルと高いものの、ネパールとチベットを結ぶ昔からの交易路となっている。現在でも旅商、巡礼などの往来が絶えず、峠を越える彼らの姿をベース・キャンプから同席の目にした。我々のもとの方から峠への通路には、僧院、集落などの遺跡が点在していた。いずれも文化大革命の頃に破壊されたようで、痛々しい姿をとどめていた。

高山病

空気が薄いことによって起こる様々の身体的障害を、一般に高山病と呼んでいる。草十山頂では三分の二気圧、エベレスト頂では三分の一気圧とあり、我々が行動をしていたBC（五七〇〇メートル）より下では、平地の半分以下の空気しかない。一口に高山病といっても、頭痛、吐き気程度の軽い症状で済むものから、肺水腫や脳浮腫の様発して短時間で死に至る場合もある。現在でも医療品による治療はあまり期待できない。

そして問題が起こればそれまでのことがあり、そして問題が起こればそれまでのことがあり、そして問題が起こればそれまでのことがあり、

目白駅も自動改札化

今秋にも着工か

JR山手線内各駅の自動改札化に伴い、JR目白駅にも自動改札が導入される。改札機の設置工事は、今年中に始められる予定。導入後は、喜が果たせた茶色の切符、定期券、イオカードで利用できる。

JR目白駅改札が自動改札化に伴い、JR目白駅にも自動改札が導入される。工事は、今年中に着工され、完成は今年中、あるいは来年に持ち越される。

JR山手線の自動改札化は、すでに四月から始まっており、六月末までに完了導入される駅は九駅。今年度中には、新大久保・田町・五反田を除く二十八駅に設置の予定である。

目白駅には、自動改札機が入り口用・出り口用合わせて七台設置される。朝のラッシュ時には、出口用改札を増やすなど、利用客の便宜を図ろうというようなことも考えているという。

自動改札の使い方

自動改札は、喜が無ければ茶色の券で利用できる。改札のスピードは、人が歩く速さに合わせてあるため、一般のスムーズになると思われる。これをめんどうと思う人出現は、現在の有人改札と用客が多いことも、当然予想される。そこで、JRでは、導入後三、四週間は従来の有人改札を並行して設置することで、まずは、慣れるまでは、喜が無ければ、自動改札機に通されることはないということである。

定期券の場合

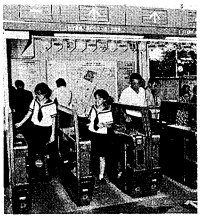
自動券化されると、定期券利用者にはどのような影響があるのだろうか。自動改札は、定期券をパスケースから出し入出場は、現在の有人改札よりスムーズになったという。

イオカードとは

今回の山手線自動改札化に合わせて「ストアードフェアシステム」が導入される。

このシステムは、現在、プリペイドカード（イオカード）で、直接自動改札機に入れると、自動的に精算される手軽さというもの。入出場を行う手間がなくなるため、現在はモニター試験的に実施、実用化される見込みだ。

「ストアードフェアシステム」で使用されるカードがイオカードで、自動改札で利用されるとともに、自動改札で利用されると、裏面に入場年月日などが印字される。イオカードとは、ストアードフェアシステムを使用する磁気カードのほかに、券売機、レンガ造りの建物群が現れる。これらが、サークル活動の拠点となる部室棟であり、さまざまな活動をする五教会館である。



ＪＲ駒込駅の自動改札

復活!!企業研究⑤

株式会社リクルート

今回は東京・新橋に総ガラス張りの本社ビルを構える、株式会社リクルートにおじゃましました。

「とらばーゆ（二九八〇年創刊）」「ロム・エー（二九八二年創刊）」「エイビル（二九八四年創刊）」と大学生にもおなじみの雑誌を出版しているリクルート、創業は昭和三十五年、東京大学新聞の広告営業をキッカケに、学生二人で大学新聞広告社を設立したことに始まる。以降、「リクルートブック（就職情報）」を当時まだ目白にあった分館に力を入れ、次々に成功し、現在、支社十六、営業所五十二、関係会社三十一を数える一大企業に成長した。今年も「じゃらん」「ケイコとマナブ」を創刊、売り上げも好調で、リクルート事件の影響など微塵も感じさせない勢いである。

今回は、同社の「総務部」と大学生にもおなじみの雑誌を出版しているクルート、創業は昭和三十五年、東京大学新聞の広告営業をキッカケに、学生二人で大学新聞広告社を設立したことに始まる。以降、「リクルートブック（就職情報）」を当時まだ目白にあった分館に力を入れ、次々に成功し、現在、支社十六、営業所五十二、関係会社三十一を数える一大企業に成長した。今年も「じゃらん」「ケイコとマナブ」を創刊、売り上げも好調で、リクルート事件の影響など微塵も感じさせない勢いである。

そこで、この成長著しいリクルートとは、どんな会社なのか？広報室の東海さんという。

気になる就職だが、就職情報誌を出版している立場上、就職協定は遵守しており、説明会も八月一日以降に行われるというもの。入出場を行う手続きなどは、現在はモニター試験的に実施、実用化される見込みだ。

「ストアードフェアシステム」で使用されるカードがイオカードとなるとのことだ。

また、社員の使い捨てコイメージが強いというリクルートは、いわゆる「さき間産業」などと呼ばれ「人材産業」とも言われている。

リクルートは、「人材の育成」を目的とし、「人材を育てる」ことを目的とし、「人材を育てる」ことを目的としている。

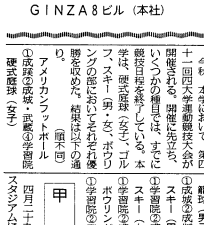
佐藤さんの経歴のなかで、会社を始めるにいたった理由は、「大学で同期の友人が、ベンチャーを起こしたいと言ったことが、会社を始めるきっかけ」だという。

最終試験は、役員面接、面接で聞かれることは、「大学で何を学んだか」「自分がこの会社でやりたいこと」など、「どこかで自分の意義をしっかり持っているかを試す内容のようだ。会社としては、「画一的でなくクリエイティブ」な人材を求めているようだ。

プ」で「人間魅力を感じる」人材を求めているとのことで、「会社の金を使って自分の金を使わない」ことが、「自分が楽しむことが、できるのは、ウチ、ぐらいじゃないかな」と東海さんは話し、「ウチ、打ち立てたといっていた。また今後は、採用者は二人。

近年、女性の社会進出が著しいが、リクルートは従業員全体の三分の一が女子。見出せないなりそうだ。若いうが作り育てた「リクルート」が、活気に満ちあふれている。実際、本社を案内されたときもいろいろな所で女性が活躍していた。

付け加えておきたい。



ＧＩＮＧＡ８ビル（本社）

学習院素描画

大学生でありながら、社長もなす、いわゆる学生長が学習院にもいた。いたイベント企画会社「コラージュ」を営む、佐藤宗史さん（営4）がそうである。

佐藤さんが会社を設立したのは大学一年の時、とってもむずかしい時期に、特に若い女性は会社を設立したいなどと、実質的会社を登録したいなどと、実質的会社を登録したいなどと、実質的会社を登録